

第47回アビリンピックまつり in 宮崎 2025 ネイル施術デモンストレーション競技課題

1 競技課題内容

課題1: ネイルケアとジェルカラーリング (4ページから)

課題2: ネイルチップアート (7ページから)

2 会場に準備してあるもの及び持ち物

2ページ及び9ページを参照

3 手法の提案

課題1: 参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、
モデルへの施術をもって提出とする。

課題2: 完成した作品は競技終了後、所定の用紙に張り替え提出とする。

4 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) ネイルアートに使用する装飾品は市販されているネイルシールや3Dパーツなどデザイン性のあるパーツを使用してはならない。
- (7) 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- (8) 競技中に、競技課題以外の用紙にメモをしたものや、デッサン画、参考書等参照してはならない。
- (9) 競技中に、スマートフォン等の通信機器(電卓機能の使用を含む)を使用してはならない。
- (10) 著作権など他人の権利を侵害してはならない。
- (11) その他大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

5 注意事項

- (1) 競技前に、スマートフォン等の通信機器の電源を切り、かばんの中等にしまうこと。
- (2) 使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
- (3) 作品が完成したらスタッフに申し出ること。
- (4) 会場での座席位置は、予めスタッフが決定する。

※補助具等(書見台等)の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入すること。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行わない。

6 競技会場に準備してあるもの

- 1 作業台
- 2 選手用手元用電気スタンド
- 3 電気コンセント及び延長コード
- 4 椅子
- 5 アルコール消毒液
- 6 お湯
- 7 ジェルネイル用ランプ (選手持参)

※ネイルケア、ジェルネイルなど施術で使用する道具は、各自に必要な道具一式を持参すること。

※課題1 カラーリングでは、ジェルのベース・トップ及びそれらの施術に必要な材料と道具を各自持参すること。

※使用する製品や機器のメーカー等は問わない。

※選手持参一覧に記載がない材料などで必要な物は、各自で必要に応じて用意すること。

7 ネイルケア&カラーリングのモデルの爪の状態について

- ・ネイルカラーなどが何もついていない、ナチュラルネイルの状態。
- ・亀裂等の処理はネイルグルーのみ使用可。(本数は問わない)
(ネイルグルー以外の素材でリペアが確認された場合には、減点の対象となる。)
- ・何も塗布していない状態から始める。(ネイルグルーを除く)
- ・爪の長さは、手の平側から見て1mm以上5mm程度までの爪の状態の方。
- ・形を整えられる長さがあり1週間以上お手入れがされていない方。
(1週間以上お手入れをしていない状態と判断ができない場合は、減点の対象となる)

◎課題1、課題2で使用する機材一式：普段使用しているものを持参すること。

※使用機器のメーカー等は問わない。

※ネイルチップも選手が用意する。

8 テーブルセッティングに関して

※競技開始前までに、全て準備が終了していること

- ・作業中に使用器具、材料をカバンから出す場合は減点とする

※ジェルネイルランプの電源を競技前に確認すること

※使用する器具、材料はトレイの中にセッティングし作業中も衛生的に管理すること

(ジェルネイルランプは、トレイの外にセッティングし、各自で管理すること)

- ・ウエットステリライザーを必ずセッティングすること

(キューティクルニッパー、ウッドスティック、メタルプッシャー、ピンセットをセッティング)

- ・ジェルネイルランプは衛生的なものを使用し、競技中も衛生に配慮すること

- ・ジェルネイルランプのセッティング場所は自由

- ・テーブルにフェイスタオルを敷きその上に使い捨てペーパーを置く

(その上で作業を行う)

- ・ゴミ袋をセッティングすること

課題1（ネイルケアとカラーリング）

●競技時間

30分（片手ネイルケアジェルカラーリング30分）

●競技内容

モデルの手（片手）に、手指消毒からネイルケア～ジェルカラーリングまで施す。

※（プラクティスハンド不可）

●競技手順

ネイルケア

施術はウォーターケア（お湯を利用した）を利用したネイルケアをモデルの両手に施す。

○消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にモデルの手指を消毒する。

- ・施術者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。

○エメリーボードを用いてフリーエッジの長さとしを整える。

- ・ファイリングは一方方向に行うこと。
- ・形はラウンド、オーバル、スクエアオフのいずれかの形で整えること。
- ・5本の長さ、形は揃えること。

○キューティクルリムーバー（クリームも可）を塗布し、フィンガーボールに入れる。

○ブッシャーを用いてキューティクルをプッシュアップする。

- ・ブッシャーはメタルブッシャーもしくはウッドスティックにコットンを巻いたものを使用すること。
（キューティクルリムーバーや水を使用しながら行うこと。爪を傷つけないようにすること）

○ガーゼとキューティクルニッパーを用いてルーススキン、ささくれを除去する。

- ・キューティクルニッパーで爪や皮膚を傷つけないようにすること。

○後半のジェルカラーリングにあった爪の状態を準備する。

- ・モデルの片手：ジェルネイルの施術が施せる状態（爪全体に適切なサンディングを施す）
サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技上のルールとして、モデルの爪に適切なサンディングを行ってください。

- 爪の表面、裏面のダストをきれいに取り除く。
- 使用した器具/材料をすべて片付け、汚れたペーパータオルを交換する。
- 手指消毒（技術者の手指、モデルの手指）から、キューティクルケア、それぞれのジェルカラーリングが施せる状態まで行う。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・器具、材料は必要なものが準備され、常に整理整頓された状態であり、正しく使用していること。
- ・フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと（フリーエッジ裏も含む）。
- ・ルーススキン、ささくれや甘皮の処理がきれいに適切にされていること。
- ・10本のフリーエッジの長さや形がバランス良く揃っていること。
- ・後半のジェルカラーリングに合わせ爪の準備が適切にされていること。
- ・作業手順は問わない。
- ・作業を全て時間内に終了すること。
- ・危険行為や出血などがある場合は減点とする

カラーリング

カラーリングは、ジェルカラー（赤）を使用すること。

※モデルのネイルケアを施した手にジェルカラーリングを行う

※カラーはいずれも2度塗りとする。

○爪の表面、フリーエッジの裏の油分、水分の除去をする。

- ・カラーリングの施術内容に応じた、爪のクリーンを行なうこと。

○爪のエッジと表面にベースを塗布する。

○爪の表面とエッジにカラーを塗布する。（1度目）

○爪の表面とエッジにカラーを塗布する。（2度目）

○爪のエッジと表面にトップを塗布する。

○ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。

- ・ジェルネイルは、カラーリング終了後にファイルを使用することは不可とする。

(ネイルファイルを使用し爪やジェルを整えた場合には減点とする)

- ・仕上り後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。
- ・未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用した場合には、ふき取りを行わなくても良い。ただし、ベタつきがないこと。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・エッジの塗り残しがないこと。
- ・先端の厚みが均一であること。
- ・爪裏に製品が流れていないこと
- ・キューティクルラインが空き過ぎず滑らかであること。
- ・サイドの塗り残しがないこと。
- ・表面に色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどが無いこと。
- ・素材に合ったツヤがあること。
- ・皮膚にジェル製品がついていないこと。
- ・時間内にトップジェルまで塗られていること。
- ・ジェルは未硬化ジェルがない状態であること。
- ・カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと。

●注意事項

- ①競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと
- ②モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと
手指を消毒してから施術を再開すること。
- ③器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
- ④時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ⑥ジェルネイルはカラーリング(トップジェル硬化後)終了後、はみ出したジェルをネイルファイルで削らないこと。(ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となる。)

課題2 (ネイルチップアート)

テーマは「夏」

●競技時間

30分

●競技内容

「テーマに沿った」ネイルアートの基本的なテクニックをネイルチップ（5本）に施す

※見本（メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等）を見ながらの作業は不可。

※チップサイズの目安：8ページを確認すること。

●競技手順

- チップを加工する
- チップを固定する
- ベースコートを塗る
- カラーリングを行う
- テーマに沿ったアートを行う
- トップコートで仕上げる

●注意事項

- ①衛生的に作業を行うこと。
- ②使用するチップを加工（形を整えるなど）し、チップスタンドまたはハンドに装着する。
- ③チップのファイリングスタイルは自由。
- ④作品は、ポリッシュまたはジェルを使用し作成する。アート部分は、ポリッシュ、**ジェル**、アクリル絵の具を使用する。色や使用するメーカーは問わない。
- ⑤課題のテーマに沿ってアートを施す。

- ⑥ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可（ラメ・ラインストーン・スタッズなど）。
- ⑦市販されているネイルシールや 3D パーツなどデザイン性のあるパーツの使用は不可。
- ⑧著作権など他者の権利を侵害していないこと。
- ⑨ネイルケースに入る作品とすること（9cm×13.5cm×2.5cm）。
- ⑩5 本全体で 1 つのテーマを表現するものとし、5 本それぞれのデザインが異なるものであってもかまわない。

●チェックポイント

- ・一枚のチップの仕上がりにアートデザインが 50%以上施してあること
- ・爪につけられるアート作品（1 枚単体で装着可能な作品）
- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
- ・効果的にストーン、ホログラム、ラメなどの使用は可
※但し、デザインが出来上がったパーツ及びネイルシールなどの既成の製品の使用は不可
- ・必要に応じ、最後にトップコートでのコーティングを行う事
- ・時間内に終了しているか
- ・テーマに合ったデザインか
- ・オリジナル作品でありデザイン性が優れているか
- ・デザインテクニックに優れているか（色彩バランスとテクニック、ペイントテクニック）
- ・全体のバランスは適切であるか
- ・ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされているか

※チップのサイズの大きさの目安

（チップの長さ・幅/やや細くなる先端部分の幅）

- ・ N07:長さ:約 22mm・幅:約 8mm/約 7mm
- ・ N05:長さ:約 23mm,幅:約 9mm/約 8mm
- ・ N04: 長さ:約 23mm,幅:約 10mm/約 8mm
- ・ N02: 長さ:約 25mm・幅:約 13mm/約 10mm

アビリンピック宮崎 2025 ネイル競技デモンストレーションにて、持参していただく物

課題 1.2 共通持ち物

- ・トレイ(競技に必要な道具が入る物)
- ・ゴミ袋(A4 サイズくらいのもの)
- ・使い捨て用ペーパー(キッチンペーパーなど)
- ・フェイスタオル(競技中テーブルの上に敷く)

課題 1 の持ち物

- ・ウッドスレリライザー (中にコットンを敷いて消毒用エタノールで浸し、メタルプッシャーもしくはウッドスティック、キューティクルニッパーを立てる)
- ・手指爪用消毒液(スプレー容器、ディスペンサー使用可)
- ・コットン(容器に入れる)
- ・ファイル類(エメリー用、ジェル塗布前のサンディング用)
- ・ファイル立て
- ・メタルプッシャーもしくはウッドスティック (キューティクルケア用)
- ・ジェル(ベース、カラー、トップ)
- ・ジェル用筆
- ・ジェル硬化用ライト
- ・未硬化ジェル拭き取りリムーバー(使用しない場合は必要なし)
- ・アームレスト(タオルなどで厚みを作っても可)

課題2の持ち物

- ・チップ
- ・チップを固定するもの（チップスタンド使用可）
- ・チップに装飾する為の必要な道具（アクリル絵の具、ネイルポリッシュ、ラメなど）
- ・仕上げの為の、トップコート

※その他、競技に必要な物をご持参ください

※お持ちでないものはご相談ください